

# 第71回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会のご案内(第1報)

第71回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会

大会長 濱田良樹

(鶴見大学歯学部 口腔顎顔面外科学講座 教授)

準備委員長 中岡一敏

(鶴見大学歯学部 口腔顎顔面外科学講座 講師)

第71回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会を下記の要領で開催いたします。

会員各位の多数の演題発表と学会参加をお願い申し上げます。

会 期：2026年11月6日(金)・7日(土)・8日(日)  
【理事会・定時総会等は11月5日(木)に開催いたします】

演題募集期間：2026年3月11日(水)～5月13日(水) 正午

事前参加登録期間：2026年7月開始予定

会 場：幕張メッセ  
〒261-8550 千葉市美浜区中瀬2-1  
TEL：043-296-0001(代)  
<https://www.m-messe.co.jp/>

第71回大会 HP：<https://www.congre.co.jp/jsoms2026/>

大会テーマ：口腔外科界の未来を見据えて  
Looking toward the Future of Oral and Maxillofacial Surgery

第71回学術大会は、2026年11月6日(金)～8日(日)の日程で、幕張メッセ(千葉)にて開催いたします。テーマは「口腔外科界の未来を見据えて－Looking toward the Future of Oral and Maxillofacial Surgery－」といたしました。次世代を担う先生方に積極的に参画・登壇していただき、未来志向の議論を深める場としたいと考えております。本大会では、口腔外科界における世界的重鎮であるEdward Ellis III教授(University of Texas, Health Science Center at San Antonio)を海外招聘講演の演者としてお迎えいたします。特に、日本の若い口腔外科医に向けた熱いメッセージをいただく予定です。また、会期中に開催予定の会員懇親会においても、参加者相互の交流を深めていただける企画を準備しております。本大会が、会員各位、とりわけ若い世代の先生方にとって、口腔外科界の未来を見据え、さらなる高みを目指す新たな飛躍の契機となることを期待しております。

## I. 学術大会企画プログラム (案)

### 1. 特別講演

1) 『水資源から地球環境を考える』

藤原 正幸 先生 (京都大学大学院農学研究科水資源利用工学)

2) 『味蕾の未来：オルガノイドによる味覚センサー研究』

岩槻 健 先生 (東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科)

### 2. 海外招聘講演

『Be Curious! Ask Questions! Solve them!』

Prof. Edward Ellis (University of Texas, Health Science Center at San Antonio, USA)

### 3. 関連学会 (日本癌学会) 理事長講演

『テーマ未定』

### 4. 教育講演 (60分) 順不動

1) 日本歯科専門医機構共通研修 (患者・医療者関係の構築) 申請予定 『テーマ未定』

2) 日本歯科専門医機構共通研修 (院内感染対策) 申請予定 『テーマ未定』

3) 『デジタル手術計画・支援・修練 (仮)』

4) 『多重免疫染色について (仮)』

5) 『下顎智歯抜歯に惹起された三叉神経障害に対する保存的・外科的治療の最前線 (仮)』

6) 『日本の国際医療協力 (仮)』 (Web 講演予定)

### 5. 歯科系他学会とのコラボ企画 (60分)

1) 日本補綴歯科学会『補綴歯科と口腔外科の絆 -お互いに助け合った症例から学ぶ-』

2) 日本歯科麻酔学会『テーマ未定』

### 6. シンポジウム (90～120分)

1) 『将来を見据えた顎矯正手術のスタンダード -合併症ゼロへのマイルストーン-』

2) 『口腔扁平上皮癌に対する低侵襲治療 -現在地とこれから-』

3) 『トラブル症例に学ぶ口腔顎顔面外傷手術：次の成功へ向けて』

4) 『進行性下顎頭吸収とどう向き合うか -多角的アプローチによる顎関節マネジメント-』

5) 『未知の大災害に備えて -過去の経験から学ぶ災害歯科医療活動-』

6) 『口腔粘膜疾患の診断法の進歩 -口腔がんの早期発見を目指して-』

### 7. 日韓シンポジウム『テーマ未定』

### 8. 日台シンポジウム『テーマ未定』

### 9. 日印シンポジウム『テーマ未定』

### 10. 日英シンポジウム『テーマ未定』

11. ダイバーシティ推進委員会シンポジウム『海外で活躍する日本人口腔外科医』

12. 病院歯科口腔外科シンポジウム『テーマ未定』

13. 口腔三学会合同シンポジウム『遠隔診断・診療』

14. 若手口腔外科医師シンポジウム『テーマ未定』

15. 口腔外科スキルアップのためのミニレクチャー・ビデオレクチャー

全てのミニレクチャー，ビデオレクチャーはオンデマンド配信コンテンツです。今後，学術大会ホームページに，企画内容，講師，参加費，登録方法等の詳細を掲載しますので，奮ってご参加願います。

16. その他のプログラム

- 優秀口演発表賞ノミネート演題
- 優秀ポスター発表賞ノミネート演題
- 一般演題（口演・ポスター）
- 国際セッション（口演）
- ランチョンセミナー
- ハンズオンセミナー
- 市民公開講座『中・高校生に職業としての口腔外科医の魅力伝える（仮）』
- 全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議定例会
- 第41回日本病院歯科口腔外科協議会 総会・学術集会
- 口腔細胞診セミナー
- 国際口腔顎顔面外科専門医試験説明会
- 第18回日本顎関節外科研究会
- 第9回口腔がん低侵襲診断治療学会
- 脱タバコ社会実現委員会 シンポジウム
- 第18回歯科衛生士研究会
- 第22回歯科・口腔外科看護研究会
- 口腔がん登録セミナー
- AHA-BLS（一次救命処置講習会）
- 精密触覚機能検査研修会
- AOMI (Academy of Oral and Maxillofacial Implantologists) Section Japan, Kickoff Meeting

## II. 演題募集要項

第71回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会に一般演題（口演，ポスター）を応募される方は、以下の募集要項に従ってお申込みください。なお、詳細は学術大会ホームページに掲載いたしますので、応募の際は必ずご確認願います。

### 1. 演題募集期間

2026年3月11日（水）～5月13日（水）正午（予定）

### 2. 演題申込資格

[筆頭演者] および [共同演者] は公益社団法人日本口腔外科学会の会員に限ります。

未入会の方は、演題申込の前に下記学会事務局にご連絡のうえ、入会手続きを行ってください。

ただし、学部学生が「筆頭演者」になる場合は、本学会の会員資格は必須ではありません。また、日本歯科放射線学会ならびに日本臨床口腔病理学会との申し合わせに基づき、両学会の会員が「共同演者」になる場合、本学会の会員資格は必須ではありません。

（公社）日本口腔外科学会 事務局

〒108-0014 東京都港区芝 5-27-1 三田 SS ビル 3F

TEL：03-5422-7731 FAX：03-6381-7471 E-mail：office@jsoms.or.jp

学会ホームページ：<http://www.jsoms.or.jp/>

### 3. 演題申込方法

学術大会ホームページ（<https://www.congre.co.jp/jsoms2026/>）にアクセスし、一般演題応募画面から UMIN オンライン演題登録システムにより演題をご登録ください。なお、演題申込は、UMIN オンライン演題登録システムによる申込に限ります。以下、演題申込に関する詳細は、必ず当ホームページを参照してください。

### 4. 演題登録区分

一般演題申込時には、必ずご希望の [演題登録区分] を選択してください。

なお、演題採択時に発表形式の変更を指示させていただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。

国際セッションでの口演発表枠を拡大しています。国際セッションでは、スライド、口演、質疑応答をすべて英語で行います。海外からの発表だけでなく日本からの発表も受け付けております。海外の口腔外科医と交流し、英語での発信力の向上や国際化へ絶好の機会ですので、奮って応募ください。

- ・口演発表（優秀発表賞へのエントリーなし）
- ・口演発表（優秀発表賞へのエントリーあり）
- ・示説（ポスター）発表（優秀ポスター発表賞へのエントリーなし）
- ・示説（ポスター）発表（優秀ポスター発表賞へのエントリーあり）
- ・国際セッション口演発表（優秀発表賞へのエントリーなし）

## 5. 発表形式

### ① 口演発表

- ・ 演題名

[演題名] は、日英両方の登録が必要です。

- ・ 氏名と所属機関名

[氏名] と [所属機関名] は、筆頭著者・共著者ともに、日英両方の登録が必要です。

- ・ 抄録本文

[抄録本文] は、日英いずれかでの登録で結構です。

- ・ 口演発表とスライド作成

[口演発表] については、学術大会企画運営委員会で審議した結果、第67回大会より、会員の皆様に英語での発表機会に習熟していただきたいことから、口腔外科学会での発表は、[スライドは、英語表記、もしくは英語併記] にしていただき、[口頭での発表は、日本語、もしくは英語でも可] ということに決まりました。なお、これは、努力義務ということですので、日本語表記は不可というわけではありません。ただし、口演発表（優秀発表賞へのエントリーあり）で応募される場合、会期当日、会場でご発表いただく際の [スライドの表記言語は英語] です。優秀発表賞ノミネート演題の発表時間は1題9分・質疑応答3分、一般口演演題の発表時間は1題7分・質疑応答3分を予定しております。スライド枚数の制限はありませんが、時間厳守をお願いします。なお、主催側で口演会場に用意するPCには、Windows版PowerPointのみインストールしております。他のプレゼンソフトを使って口演発表される場合は、ご自身のノートPCを持ち込んで発表してください。

### ② 示説（ポスター）発表

- ・ 演題名

[演題名] は、日英両方の登録が必要です。

- ・ 氏名と所属機関名

[氏名] と [所属機関名] は、筆頭著者・共著者ともに、日英両方の登録が必要です。

- ・ 抄録本文

示説（ポスター）発表（優秀ポスター発表賞へのエントリーなし）で応募される場合、[抄録本文] は、日英いずれかの登録で結構です。

示説（ポスター）発表（優秀ポスター発表賞へのエントリーあり）で応募される場合、[抄録本文] は、日英両方の登録が必要です。

- ・ 示説（ポスター）発表とポスター作成

[示説（ポスター）発表] については、すべてのポスターセッションを [現地会場でのポスター発表（従来の形式）] とさせていただきます（オンライン上でのポスター発表は予定しておりません）。会場のポスターパネルにお貼りいただくポスターサイズ等の仕様は、後日、本ホームページ上でご案内させていただきます。なお、示説（ポスター）発表（優秀ポスター発表賞へのエントリーなし）で応募される場合、会期当日、会場でご発表いただく際の [ポスターの表記言語は英語または日本語のどちらでも可能] です。示説（ポスター）発表（優秀ポスター発表賞へのエントリーあり）で応募される場合、会場でご発表いただく際の [ポスターの表記言語は英語] です。

### ③ 国際セッション口演発表

- ・ 英語版学会ホームページ内、[Call for Abstract] の応募要項に沿ってお申し込みください。

(<https://www.congre.co.jp/jsoms2026/en/index.html>)

## 6. 抄録作成要項

日本口腔外科学会雑誌の投稿規程および用字用語例などに準拠して作成してください。

文字数制限について

演題名	全角 40 文字以内
英語タイトル	半角 20 ワード以内
抄録本文	全角 600 文字以内
総文字数（演題名・著者名・所属施設名・抄録本文の合計）	全角 1,000 文字以内
英語抄録本文	半角 400 ワード以内
英語抄録総文字数（演題名・著者名・所属施設名・抄録本文の合計）	半角 800 ワード以内
著者数（筆頭演者 + 共同演者）	10 名以内
所属施設数	10 施設以内

- ・学会の規定により、著者数・所属施設数の上限は 10 名・10 施設以内となります。上限を超える場合は事前に運営事務局へ電子メールにてご相談ください。
- ・[演題名] は、日英両方の登録が必要です。
- ・[氏名] と [所属機関名] は、筆頭著者・共著者ともに、日英両方の登録が必要です。
- ・[抄録本文] は、口演発表と示説（ポスター）発表（優秀ポスター発表賞へのエントリーなし）は日英いずれかの登録で結構です。示説（ポスター）発表（優秀ポスター発表賞へのエントリーあり）は日英両方の登録が必要です。なお、研究報告の場合、【緒言（目的）】、【材料（対象）・方法】、【結果】、【結論】を、症例報告の場合は、【緒言】、【症例の概要】、【結果（結語）】を必ず記載してください。
- ・[総文字数] の文字数制限について、多施設共同研究等で全角 1,000 文字を超える場合は、事前に運営事務局へ電子メールにてご相談ください。

## 7. 優秀口演発表賞ならびに優秀ポスター発表賞へのエントリーについて

**事前審査の日程上、演題募集の締切日（5月13日（水）正午）を厳守してください。** なお、一般演題募集の締め切りが延長された場合でも、本賞の応募締切は延期いたしません。延長した後に応募や修正されたものは審査対象となりませんので、ご注意ください。

### 1) 優秀口演発表賞

#### ① 応募方法

エントリー制を採用します。本賞へのエントリーを希望する方は、演題応募の際、600 字以内の [抄録] の他に 1,000 字以内の [追加抄録] を同時に提出してください。[追加抄録] には、研究内容の意義と、その中で今回の発表結果から得られた知見を明示し、さらに今後の展望について記載してください。

なお、審査対象演題は [基礎的研究] と [臨床的研究] の 2 部門としますので、エントリーに際し必ずいずれかを選択してください。単なる症例報告は審査対象とはなりませんのでご注意ください。選考委員会の判断で、選択いただいたカテゴリーを変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

・「臨床的研究」「基礎的研究」の定義

「臨床的研究」 臨床医学における問題意識に立脚して臨床現場において行われる研究で、観察研究、介入研究、疫学研究、システマティックレビューなどの二次的研究を指します。なお、臨床材料（組織、細胞、標本）を用いて予後など臨床的な検討を行ったものは臨床的研究に入ります。

「基礎的研究」 「臨床的研究」以外の研究を指しますが、臨床材料（組織、細胞、標本）を用いた研究であっても、疾病原因の機序の解明や治療法の開発などを目的に、培養細胞や実験動物を用いた研究で、直接臨床データに係わらない研究は基礎的研究に含まれます。

② 審査方法

学術奨励賞等選考委員会が、エントリーされた演題の抄録と追加抄録を事前審査し、10演題を「ノミネート演題」として採択します。これら採択された10演題すべてを「口演発表賞」として表彰します。さらに、その中から、学術大会における口演発表内容等をあわせて審査し、「最優秀口演発表賞」1演題、「優秀口演発表賞」3演題を選考します。ただし、抄録内容と発表内容に大きな齟齬がある場合には、受賞を取消することがありますのでご注意ください。

なお、ノミネート演題に採択されなかった演題は、一般口演として採用します。

会期当日、会場でご発表いただく際のスライドの表記言語は英語です。

2) 優秀ポスター発表賞

① 応募方法

エントリー制を採用します。今回優秀ポスター賞は、「基礎的研究」、「臨床的研究」、および「症例報告」の3つのカテゴリより選考します。本賞へのエントリーを希望する方は、「基礎的研究」、「臨床的研究」、および「症例報告」のカテゴリを選択してください。演題応募の際、日本語600字以内および英語半角400ワード以内の「抄録」を提出してください。「優秀口演発表賞」と異なり「追加抄録」の提出は不要です。

② 審査方法

学術奨励賞等選考委員会が、エントリーされた演題の抄録を事前審査し、各カテゴリから合計約50演題を「ノミネート演題」として採択します。学術大会において優秀ポスター発表賞評価委員がポスター発表を評価し、学術奨励賞等選考委員会で約20演題に「優秀ポスター発表賞」を授与します。

なお、「ノミネート演題」に採択されなかった演題は、一般ポスター演題として採用します。

ポスターの表記言語は英語、抄録登録は日英両方の登録が必要です。

③ エントリー時の注意

1. 基礎的研究、臨床的研究のエントリーについて

- ・筆頭報告者は（公社）日本口腔外科学会会員であること。
- ・和英文の抄録を必要とします。
- ・単に臨床材料を用いた研究は臨床研究としません。
- ・基礎的研究、臨床的研究の振り分けは最終的に委員会の判断とします。
- ・ポスターはすべて英文で記載します（タイトル、所属、演者は日本語併記とします）。

## 2. 症例報告のエントリーについて

- ・ 未発表症例に限ります。
- ・ 筆頭報告者は40歳未満で、(公社)日本口腔外科学会会員であること。
- ・ 和英文の抄録を必要とします。
- ・ 10例以上の症例報告、手術手技は「臨床的研究」とします。
- ・ 原則として経過観察期間1年未満の症例報告は受け付けません。
- ・ ポスターはすべて英文で記載してください(タイトル, 所属, 演者は日本語併記とします)。
- ・ エントリーの適否は委員会の判断とします。
- ・ 応募数が少ない場合は臨床的研究と合わせて審査する場合があります。

## 8. 演題の採否

申込演題の採否および発表形式の決定は、学術大会企画運営委員会にご一任ください。

口演・示説の発表形式については、希望とは異なる形式での採択となる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。採否結果のご連絡は、2026年8月中旬頃までに電子メール等でお知らせする予定です。(電子メールは、演題申込時にオンライン演題登録システムへご登録いただいた電子メールアドレス宛てに送信させていただきます。演題登録時には正しい電子メールアドレスをご登録いただくよう十分ご注意ください。)

## 9. 利益相反(COI)の開示について

演題登録に際して、[筆頭演者]は利益相反(COI)の開示が必須となります。演題登録画面の[利益相反(COI)状態]の項目にて、[有・無]を選択してください。[有り]の場合は演題登録後に、学術大会ホームページよりダウンロードした[利益相反(COI)自己申告書]に必要な事項をご記入のうえ、[第71回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 運営事務局(jsoms2026@m.congre.co.jp)]まで電子メールにてお送りください。

## 10. 倫理指針について

演題申込時に[倫理分類カテゴリー]の登録が必要です。必ずご確認ください。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」等が適用される研究については、それらの指針に基づき、各機関等における倫理審査委員会の審査に基づく機関の長の許可を得て行われていることが必要です。

詳細は日本口腔外科学会ホームページ「日本口腔外科学会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」ならびに「応募演題のカテゴリー分類とカテゴリーを判断するためのフローチャート」を参照してください。

理事会決定により、[たばこ関連企業またはたばこ関連団体からの助成を受けた論文や発表演題]は、応募演題を受理できません(演題受付できません)。あらかじめご了承ください。

### Ⅲ. 学術大会（以下「学会」）事前参加登録について

#### 1. 学会の事前登録について

学会当日の混乱を回避するため、事前参加登録と参加費前納にご協力願います。

事前参加登録期間：2026年7月開始予定

#### 2. 学会参加費

第71回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会における学会参加費は下記のとおり予定しております。正会員の皆さまには、学会ホームページより「学会参加費の前納（事前参加登録）」にご協力願います。

記号	資格区分	学会参加費 (事前)	学会参加費 (当日・オンデマンド期間)
A	正会員	17,000 円 (不課税)	20,000 円 (不課税)
B	準会員	3,000 円 (不課税)	4,000 円 (不課税)
C	口腔外科関連医療従事者	3,000 円 (課税 10%)	4,000 円 (課税 10%)
D	非会員（歯科医師・医師・患者支援団体等）	20,000 円 (課税 10%)	22,000 円 (課税 10%)
E	学生（歯学部・歯科大学および医学部・医科大学に在学中の学部学生，歯科衛生士養成学校・看護師養成学校等に在学中の学生）	無料	無料
—	海外参加者	JPY18,000. -	JPY20,000. -

#### 3. 託児所について

受け入れ人数に限りがありますが、託児所の設営を予定しております。準備が整い次第、学術大会ホームページから受付（事前予約のみ）を行いますので、ご確認ください。

### Ⅳ. お問い合わせ

主催事務局：鶴見大学歯学部 口腔顎顔面外科学講座

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見 2-1-3

**【学術大会参加登録・演題申込・プログラム・企画内容等に関するお問い合わせ】**

運営事務局：株式会社コングレ内

〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-51

Nakanoshima Qross 未来医療 R&D センター 11F

TEL：06-7653-3188（平日 9：30～17：30 土・日・祝除く）

E-mail：jsoms2026@m.congre.co.jp